



第2510地区 第11グループ 2013~2014

# 函館北ロータリークラブ会報

2013~14年度 国際ロータリー テーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013~14年度 国際ロータリー会長 ロンド. バートン

森 秀樹 会長 テーマ “51年一歩前進 そして感謝の心”

★会長 森 秀樹 ★幹事 弗田和則

- ・例会場：ロワジールホテル函館 〒040-0063 函館市若松町14-10 TEL22-0111
- ・例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870
- ・ホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

## 《第2423回例会》第35号 4月2日(水)

### 本日のプログラム

クラブフォーラム「会員増強について」



3月25日 七飯RC合同例会  
七飯RC 工藤 悟 会長エレクト

2013~2014 < 第 2422 回例会 >

第 34 号 3月25日の記録

- ◎司 会 七飯RC 工藤 悟 会長エレクト
- ◎斉 唱 奉仕の理想、四つのテスト

- ◎ビジター 函館五稜郭R.C.朝倉 純一 会長  
函館五稜郭R.C.能戸 彰 幹事

### ◎会長報告

- 七飯RC 工藤 悟 会長エレクト

毎年開催される合同例会ですが、本来であれば七飯大沼プリンスホテルを会場とする予定でしたが冬期休館のため、函館五稜郭RCのご厚意によってホテル法華クラブを使わせて頂きました。

函館五稜郭RC朝倉会長に感謝いたします。

- 函館北RC 森 秀樹 会長

今日は七飯RCのホストで開催します。工藤会長エレクト、お世話になります。又ビジターで函館五稜郭RC朝倉会長、能戸幹事ご出席下さいまして、心から感謝致します。楽しくお過ごし下さい。

七飯RCは、1970（S45）年4月18日設立し、合同例会は1972年8月23日大沼パークホテルに

おいて初めて開催し、2回目は1973年5月23日に函館ロイヤルホテルにて行われました。

途中しばらく休みがありましたが、2000~2001ガバナー補佐でもあった七飯RCの佐々木弘会員から再開しようとの意見があり2000年11月15日大黒屋旅館（湯川）で開催されました。

### ◎出席人数

北RC会員 11名 夫人 5名  
七飯RC会員 11名 夫人 4名

### ◎幹事報告 弗田 和則 幹事

- 他クラブ例会変更 4月1日(火)函館セントラルRC移動例会に変更。

### ◎親睦活動委員会 斎藤 秀司 委員

#### ニコニコBOX投入報告

森 会長・弗田幹事

……一年ぶりの合同例会。楽しく今日は過ごしましょう。

山下会員・増田会員・松見会員・斎藤(紀)会員

……合同夜間例会楽しみましょう。

◎七飯RC合同例会

函館北RC・七飯RC合同例会は七飯RCがホストを務めて、ホテル法華クラブで開催されました。

例会終了点鐘の後、七飯RC工藤会長エレクトの司会進行でクイズゲームを交え懇親会に移行して両クラブの懇親を深めました。



「胃がんとピロリ菌」のナゾ

胃がんがピロリ菌によって起こることはいまや定説。事実、マレーシアに住む中国系の人はピロリ菌が高率に見つかっているし、だから胃がんも多い。これは日本人と同じ。

ところが、同じマレーシアのマレー系の人はピロリ菌を持つ人が少ない。なぜかよくわからないのだが、菌が少なれば胃がんも少ないのは当然である。実はよく調べてみると、マレー人だけでなく、インドネシア人も同じようにピロリ菌の保有率は低く、それだけ胃がんは少ない。

ところがもっと不思議なことがわかってきた。同じマレーシアのインド系の人はピロリ菌をもつ人が多いのに胃がんは多くはないのである。つまりこの菌があっても胃がんにならない。これは「胃がんのピロリ菌説」に一致しない。なぜなのか？菌の種類が違うからか、あるいは生活環境の違いが関連しているのか？

いろいろ考えられるが、原因は不明である。

ということで胃がんのピロリ菌説はもう間違いな定説ではあっても、人種や生活習慣の違いなどがからんで必ずしも一筋縄ではいかない難しさがあることが浮き彫りになってきた。

命を一年延ばす

人生70年、80年の時代になってきた。そんな世の中であっても、人の命を1年延ばすことは如何に大変なことか？

がんになっても早期発見でうまくいけば完全治癒は可能である。だが、現実はまだまだ厳しい。およそ半数の人はいまでも数か月か1年、2年、あるいは3年後に亡くなることが多い。と考えると、がんになってから命を1年延ばすことは大変なことなのである。その間の患者さんの精神的苦痛も単なる言葉ではいい表せないほどの大きいものであろう。

がんになるときを1年延ばすことはどうだろうか？これはより簡単である。例えばタバコを止める、悪しき食生活を断つなどの生活習慣の見直しによって、がんになるときを1年、2年延ばすことはさほど困難なことではないし、苦痛でもない。こうしたがん予防にかかる費用も治療費に比べたら雲泥の差の少額ですむ。

与えられた尊い命を1年延ばそうとするならば、がんになってから慌てて四苦八苦するよりも、がん予防に努め、がんになる年齢を1年、2年延ばすことのほうがはるかに賢いことだと思う。

公益財団法人 札幌がんセミナー 広報誌「The Way Forward」第4号より  
理事長 小林 博 (R1第2510地区パストガバナー)

(会報担当者：松見 修二 委員)

石橋をたたいて渡る・・・

めまぐるしく変化する現代社会

今ほんとに必要なことは、「ゆっくりとほどほどに」

石橋をたたいて渡るくらいの慎重さでは？



函館北ロータリークラブ

石橋をたたいて渡る提案

石橋輝夫

(広告掲載：石橋 輝夫 会員)

◎3月12日出席報告 (増田 定雄 委員長)

会員	21名	出席率対象会員	20名
		出席規定免除会員(a)	1名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	17名	当日欠席	3名
他クラブ出席	2名	出席合計	19名
出席率		95.00%	

次回のプログラム

平成26年4月9日

早朝例会

於 ロワジュールホテル函館 2F 四季 午前7時00分～

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番